

令和4年度事業報告

公益社団法人 掛川市シルバー人材センターの 令和4年度事業及び活動について、次のとおり報告いたします。

概 要

令和4年度の社会経済状況は、新型コロナウイルス感染拡大が、第7波・第8波と続き長期化し、テレワーク等の新しい仕事のやり方やキャッシュレスサービス決済が普及拡大し、社会環境も大きく変わる中、行動制限は要請されず新生活様式の推進が求められ、経済活動の回復が図られました。しかしながら、ロシアのウクライナへの軍事進攻を契機にエネルギー価格の高騰や食料品などの価格上昇が続き、事業者や市民を取り巻く環境は、非常に厳しい状況です。

当センターでも、事業運営には極めて難しい状況であり、清掃等の施設管理業務の受注減などの影響がありました。しかしながら、剪定や除草作業にあっては前年度並みに復活し、新たな軽作業受注などがあり、契約実績では派遣事業を含め前年度比0.7%減の実績となりました。

会員の増員計画では、会員のロコミ等による新規会員の加入促進を図りましたが、当初で目標とした数値計画を達成できませんでした。

事業実績の数値は、会員数608人（前年比24人減 96.2%）契約額は413,078千円（前年比1,246千円減 99.7%）、会員配分金では344,471千円を配分することができました。就業延人員は74,446人となり、前年比（4,163人減 94.7%）となりました。

懸案である傷害事故並びに損害事故の抑止対策は、安全・適正就業委員会を中心として安全就業等に対する周知徹底や、啓発事業等に積極的に取り組んで参りましたが、傷害事故が14件（前年比1件減）、損害事故は11件（前年比5件増）発生しました。

今後においても、役員、地域リーダーを始めとし、全会員が一丸となり、安全就業の徹底と就業機会の拡大を推進するとともに、医療保険や介護予防等の観点からも重要な役割を果たしつつ、これまで以上に地域社会への貢献を目指して参ります。

令和4年度事業報告 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月 公益社団法人 掛川市シルバー人材センター